

ふじみ

市議会 だより



平成30年第3回(9月)定例会〈会期日程〉

8月28日・31日 本会議 開会 会期の決定 議案内容説明・報告 議案総括質疑 議案の常任委員会付託	9月4日・5日・6日 7日・18日 常任委員会 議案の審査 予算決算議案の審査	10日・11日・12日 13日・14日 本会議 市政一般質問	25日 本会議 委員会審査報告及び採決 議員提出議案審議 閉会
--	--	--	--



「夕焼けの落日」上沢地区
平成30年1月撮影 撮影者 内田 光 氏(鶴瀬西在住)

平成29年度の決算審査行われる

平成30年第3回(9月)定例会が、8月28日から9月25日まで行われました。今定例会では、平成29年度の一般会計決算議案、国民健康保険をはじめとした特別会計決算6議案と、水道・下水道事業の企業会計決算2議案について、予算決算常任委員会の3つの分科会で審査しました。

決算議案以外では、重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定や平成30年度一般会計補正予算など、全部で11件の案件が市長から提出されました。審議の結果、決算議案を含め、すべて原案のとおり可決、認定しました。

議員提出議案7件については、「障害者雇用水増し問題の原因究明と再発防止を求める意見書」など5件を原案のとおり可決し、2件を否決としました。9月10日から14日まで行われた市政一般質問には19人の議員が登壇し、執行部の考えをいただきました。

平成30年第3回(9月)定例会 審議結果

議案等番号	議案等の名称	議案等番号	議案等の名称
64	富士見市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例及び富士見市長の選挙におけるビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	80	平成29年度富士見市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
65	富士見市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	報告7	平成29年度富士見市下水道事業会計継続費精算報告書について
67	平成30年度富士見市一般会計補正予算(第2号)	報告8	平成29年度公益財団法人キラリ財団決算について
68	平成30年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	報告9	債権の放棄について
69	平成30年度富士見市介護保険特別会計補正予算(第1号)	議13	障害者雇用水増し問題の原因究明と再発防止を求める意見書の提出について
70	平成30年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	議14	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書の提出について
71	平成30年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	議15	埼玉県「乳幼児医療費助成制度」の拡充を求める意見書の提出について
77	平成29年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	議17	東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書の提出について
78	平成29年度富士見市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	議18	学校施設等におけるブロック塀等の詳細な調査及び改修・補強や撤去等の安全対策に係る費用を補助する制度の早急な創設を求める意見書の提出について
79	平成29年度富士見市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について		

*「報告」については採決の対象ではありません。

議案等番号	議案等の名称	審議結果	賛成											反対									
			佐野正幸	吉原孝好	上杉考哉	田中栄志	尾崎孝好	斉藤隆浩	関野兼太郎	村元寛	加賀奈々恵	勝山祥	八子朋弘	今成優太	津波信子	深瀬優子	加藤清	篠田剛	寺田玲	小川匠	川畑勝弘	根岸操	伊勢田幸正
66	富士見市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	平成29年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	平成29年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	平成29年度富士見市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	平成29年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	平成29年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議16	生活保護費削減の中止を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	
議19	埼玉県議会による原発再稼働を求める意見書採択の再考を求める決議について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	

※表中、会派の「絆」は市民の絆、「安」は安心倍増市政の会を省略表記しています。 ※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。 ※議長の本否表明は議長を除く議員の本否が同数の場合のみです。

市議会議員の年賀状・暑中見舞状・祝金等寄附行為は、法律で禁止されております。皆様のご理解をお願いします。

9月10日・11日・12日・13日・14日の5日間にわたり、19人の議員が市民生活に関わる諸問題をはじめ、富士見市の将来を見据えた課題や施策等、市政一般について、市長・教育長等の考えをたしました。ここでは、定められたスペースで質問者が執筆した原稿を掲載しました。

吉原 孝好(21・未来クラブ)

①生活支援体制整備事業の推進について

②第2層協議体設置後の高齢者あしん相談センターの役割は。

③高齢者あしん相談センターには、生活支援コーディネーターと密接に連携しながら、活動の核となる重要な役割を担っていただきたい。

④第2層協議体設置後から2025年までの、課題及び課題解決に向けた取り組みは。

⑤第2層協議体についてはまだ設置していない。日常生活圏域の中でも状況が地域によって異なるので、どのようなニーズがあるのかを把握するとともに、地域の課題解決に向けて協議を進め、支援体制の充実に向けていきたい。

⑥第15回富士見市民意識調査結果の第6次基本構想への反映について

⑦第6次基本構想の策定に向けて、若い世代を対象に意識調査を行う考えは。

⑧若い世代など多くの市民や関係団体の皆様からご意見をいただき、丁寧な議論を重ねていきたい。

佐野 正幸(21・未来クラブ)

①子ども・学校の安全対策について

②犯罪機会論に基づく防犯対策の一つとして、学校に「誘導ライン」の導入を。

③研究し、今後の防犯対策に生かしていきたい。

④学校の門と校舎の扉を開めることの徹底を。現状をどう捉えているのか。

⑤議員が調べた状況を謙虚に受け止め、門や扉を閉めること等を行っていく。

⑥地域・子育て層からの要望について

⑦図書室へのエアコン設置を全校に。7・8月は図書室の温度が複数日で38度を超えている。6月議会でも取り上げたが、市内で唯一エアコンの無い南畑小に壁を設けるなど工夫をしながら設置を。

⑧冷風機の設置を検討している。仕切り壁の設置も調査研究し、環境改善に努める。

⑨びん沼公園ミニ野球場のトイレの水洗化を。

⑩簡易水洗式トイレ設置の実現に向け、調整している。来年度実現できればと考えている。

心ふれあう安心のまちづくり 関野 兼太郎(21・未来クラブ)

①安心して住みよいまちづくりについて

②昨年、富士見市空家等対策の推進に関する条例が制定された。条例に基づく現在の取り組みの状況は。

③空家等対策計画を策定中で、策定後はより具体的な施策を展開して行く。

④水谷東の諸課題について

⑤国道403号「羽根倉橋」の改修工事が今年9月から2020年5月まで予定されている。今後予想される混雑対策は。

⑥橋管理者のさいたま市による迂回看板の設置。富士見市としては周知を図っている。

⑦柳瀬川治水対策として、前耕地に調節池を造成する事業が国により決定したと聞いている。現状と今後の展望は。

⑧年内には説明会を開き、来年度から用地買収に入る。

⑨水谷東1丁目地内の旧新河岸川水路は整備以来約20年が経過している。根本的な整備をすべきと考えるが。

⑩現地を調査して適正に管理していきたい。

津波 信子(公明党)

①高齢者の健康増進について

②公衆浴場高齢者入浴料助成事業を効果的にするために、近隣の複合型温泉施設等の利用に助成する考えは。

③助成事業の趣旨は高齢者の健康と衛生を保持し、福祉の増進を図ることであり、地域で安価な入浴料金を利用されている。助成対象施設の拡大は現時点では考えていない。

④運転免許証を自主返納された方々への外出支援策は。

⑤自主返納された方々に限定した支援策はないが、自主返納を促す動きが社会的広がりを見せており埼玉県警が進めている相談事業と連携する。

⑥改正バリアフリー法について

⑦方針を示すマスタープランの作成は市町村の努力義務とされているが、市の対応は。

⑧公共交通・道路・路外駐車場・都市公園・建築物など多岐にわたるので関係各課と情報共有を図り研究していく。

⑨東上線の遅延時の対応策を

⑩遅延多発に対する対応は。引き続き東武鉄道へ要望していく。

斉藤 隆浩(21・未来クラブ)

①地域公共交通会議を受けて

②デマンドタクシーの実施が決定されたが、選定理由は。

③市内循環バスの運行が困難な狭隘な道路がある地域への運行が可能であり、市全域へ公平に提供できる。

④商業の振興について

⑤産業振興基金に、事業者がお店のPRをしながら、指定メニュー注文毎に基金を積み、それを原資に寄附を受けようか。

⑥原資を獲得する手段として、市民からの寄附は有効であると認識している。今後、基金を活用した支援制度の拡充に向け検討を進める。

⑦今後の基金のあり方は。

⑧使い勝手の良いものとして、活用することにより事業者が発展し、地域貢献が進むようなものを考える。

⑨中学校の部活動休養日2日以上等の埼玉県方針を受けて

⑩教育委員会の考え方は。現在、市の方針を作成している。科学的トレーニングの導入等により、休養を適切に取りつつ短時間で効果が得られる指導が重要と考える。

根岸 操(市民の絆)

①人権を守るために

②障がい者雇用の水増しが相次いでいるが本市の現状は。

③法定雇用率変更前までは平成27年度、変更後では今年度、率が若干下回っている。障害者手帳の写しを求め確認し、雇用率の算定を行っている。

④LGBT等の取り組みは。

⑤正しい理解を多くの方に結びつけていけるよう、積極的に啓発活動に取り組む。

⑥個人情報について。

⑦支援者については、交付や閲覧の制限を掛けている。支援者とは別に、本人が知らない間に第三者が取得する行為に及んだ場合、予め登録しておけば行為が発生した旨を知らせる本人通知制度もある。

⑧教育行政について

⑨学校施設の安全対策は。大阪北部地震後調査した法令に適合するよう早急に改修する。鶴瀬小の当てるプロック壁は、高さを改修し残す。

⑩ガーテンビーチの施設改善について。

⑪ロッカーの改善に努めるとともに、混雑改善策として入場受付の増を検討する。

寺田 玲(日本共産党)

①豪雨災害に備えるまちづくりに

②雨の音で全く防災行政無線が聞こえない場合でも、自宅の中で聞こえる戸別受信機の貸与を。

③現在は防災メールやホームページなどで、災害情報の伝達を図っている。

④高齢者はパソコンやメールが苦手な人も多い。徳島県北島町では聴覚障がい者に文字表示が付いた戸別受信機を貸与している。

⑤戸別受信機の利用価値は認識しているが、コスト面などの課題がある。

⑥南畑地域で豪雨災害が起きた際どこに避難すればいいのか。避難場所の情報表示を。ここに逃げれば安全というものは無い。状況を判断して避難してほしい。

⑦大阪府吹田市は民間と連携し豪雨災害避難ビルの確保をしている。本市でも「ららぽーと」と協定を結び、いざという時に南畑地域の方が避難できるように協議を。

⑧企業との協定は積極的にやりたい。今後検討する。

⑨



台風により倒木等の被害

①市民総合体育館について

②空き家対策について

③市内循環バスの利用料金の値上げについて

④市内循環バス特別乗車証(高齢者無料バス)の継続を

⑤望ましい公共交通はいかにあるべきかを議論した上で、さらに福祉政策で補填するべきものがあれば、その時にまた別に議論するという考えだ。

■議会を傍聴してみませんか■

人が孤立しない市を目指す
深瀬 優子(公明党)

田中 栄志(21・未来クラブ)

富士見市の未来を創るために
上杉 考哉(21・未来クラブ)

加藤 清(公明党)

篠田 剛(公明党)

勝山 祥(草の根)

加賀 奈々恵(草の根)

伊勢田 幸正(安心倍増市政の会)

①不妊症について

問 埼玉県の不妊検査費助成事業を活用し、本市でもこの事業を始めてはどうか。

答 子どもを授かることを望むご夫婦の一助になれるよう、事業化に向けた検討を進める。

①星野市政1期目の中間検証について
問 1期目後半に向けての所信は。
答 今まで取り組んできた福祉・子育て施策等の、市民生活に密着した事業などを着実に進めるとともに、抜本的な浸水対策を進めていく。

①安心安全のまちづくりについて
問 災害時に警報や指示が正確に市民に伝わり、高齢者や乳児を含む災害弱者の視点も踏まえた更なる十分な対応を。災害時の対応方法等の認識が重要であることから、ホームページやSNS、防犯メール・防災行政無線やその電話応答サービスなどを用いて迅速な情報提供を心掛けたい。

①高齢者が住みやすい街づくりについて
問 認知症高齢者を対象に、公費での賠償保険の加入を。
答 現状では公費負担の予定はない。他自治体の動向を注視し調査・研究をしていく。

①国の教育ローンの更なる活用について
問 高等学校等入学準備金利子補給制度の上限金額70万円を、実態に合わせた場合の効果や課題について。
答 教育費実態調査では高等学校が約30万円、高等専門学校等が約57万円、大学入学費用は約85万円となっている。社会環境の変化等を見据えながら制度の在り方を研究していく。

①ふじみ野地域について
問 駅東西口に下りエスカレーターを設置してはどうか。
答 大規模改修時に検討する。地下駐輪場に自転車用エスカレーター設置の要望は、利用者から要望はあった。設置をしてはどうか。

①森林環境譲与税導入後の市の政策について
問 平成31年から森林環境譲与税が本市の予算に入ってくる。予算規模と担当課は。
答 予算規模は400万円。担当課はまだ決まっていない。

①18歳成人への対応
問 平成34年4月から18歳が成人となる改正民法が施行される。それに向け成人式のあり方をどう検討していくか。
答 式典の一年前には対象者に加わってもらい実行委員会を立ち上げるので、時間があり、検討を進めていきたい。

②性の多様性を尊重する共生社会の推進について
問 学校教育におけるLGBTなどに配慮した取り組みは。
答 中学校では性別に関わらず、自認する性別の制服や衣服、体操着の着用を認めている。トイレ環境は多目的トイレの改修により、性別や障がいの有無に関わらず、誰でも利用できるよう整備を進める。

②熱中症対策について
問 来年度以降に向けて更なる対策の検討を。
答 国、県や先進自治体の取り組みを参考にしながら、市の取組方針を定め周知徹底するとともに、市民にわかりやすく知らせることを検討する。

②若年性認知症への対応について
問 今後の取り組みは。
答 若年性認知症の方や、その家族のニーズの把握に努めるの支援が必要。県発行のサービス一覧の活用や県が行う若年性認知症支援セミナー等に支援関係者が積極的に参加し、さらなる充実に取り組みする。

②市道第72号線の富士見台中学校下南側U字溝のふたの騒音について
問 市の認識と対応策は。
答 車のタイヤが道路のU字溝に乗り、ふたのガタつきによる騒音の他に路面の損傷等も確認されている。今年度修繕工事に向けた設計業務委託を実施する予定となっている。

②子どもにやさしいまちに向けて子どもの権利尊重を
問 ユニセフは子どもの権利規約に基づく「子どもにやさしいまち」指標を示している。市としての認識は。
答 子どもも貧困対策に取り組むなどして子どもの権利擁護に努めている。

②子どもにやさしいまちに向けて子どもの権利尊重を
問 ユニセフは子どもの権利規約に基づく「子どもにやさしいまち」指標を示している。市としての認識は。
答 子どもも貧困対策に取り組むなどして子どもの権利擁護に努めている。

②保育所の使用済みオムツ
問 市内の保育所の使用済みオムツの紙おむつの「持ち帰り」の現状はどうか。
答 公立・私立・認定こども園の計21施設中11施設が持ち帰り。残り10施設には布オムツで保育する施設もある。

②保育所の使用済みオムツ
問 使用済み紙オムツを公立保育所側で処理する場合、費用はどの程度か。
答 試算すると、6施設で計100万円程度かかる。保護者にも負担をお願いすること等が課題となっている。

③義務教育課程でのメンタルヘルスリテラシー教育(精神疾患教育)について
問 本市での取り組みは。
答 小学校高学年から中学校3年間の、環境や体の変化から心の不調やストレスを感じやすい時期に、子どもたちが心の不調に気づき、対処方法を学んでいくことは重要なことなので、当該教育を推進していく。

③電動アシスト自転車を活用し住みよい街づくりを
問 子供乗せ電動自転車の購入に助成を。
答 子どもとの外出手段は車やベビーカー等多様であり、施策の効果が測りにくいことや公平性の観点から難しい。

③国の運動部活動のガイドライン策定を受けての対応は
問 どう周知に努めるのか。
答 現在市のガイドラインを策定中。でき次第現場へ周知。

③国の運動部活動のガイドライン策定を受けての対応は
問 どう周知に努めるのか。
答 現在市のガイドラインを策定中。でき次第現場へ周知。

③国の運動部活動のガイドライン策定を受けての対応は
問 どう周知に努めるのか。
答 現在市のガイドラインを策定中。でき次第現場へ周知。

③国の運動部活動のガイドライン策定を受けての対応は
問 どう周知に努めるのか。
答 現在市のガイドラインを策定中。でき次第現場へ周知。

③国の運動部活動のガイドライン策定を受けての対応は
問 どう周知に努めるのか。
答 現在市のガイドラインを策定中。でき次第現場へ周知。

③国の運動部活動のガイドライン策定を受けての対応は
問 どう周知に努めるのか。
答 現在市のガイドラインを策定中。でき次第現場へ周知。

①財政豊かな富士見市へ
問 基金の一括運用についてリスク分散のため、安全な債権の買い増しをするべきと考えるが市の見解は。
答 基金の性質を考え安全第一に運用していくが、今後買い増し等の機会があれば指摘や情報提供をされたことも検討していく。

①熱中症対策について
問 真夏時は、学校体育館が非常に暑くなる。大型扇風機の設置をしてはどうか。
答 来年の夏前までに全小中学校体育館で導入を進めたい。

①熱中症対策について
問 真夏時は、学校体育館が非常に暑くなる。大型扇風機の設置をしてはどうか。
答 来年の夏前までに全小中学校体育館で導入を進めたい。

①熱中症対策について
問 真夏時は、学校体育館が非常に暑くなる。大型扇風機の設置をしてはどうか。
答 来年の夏前までに全小中学校体育館で導入を進めたい。

①熱中症対策について
問 真夏時は、学校体育館が非常に暑くなる。大型扇風機の設置をしてはどうか。
答 来年の夏前までに全小中学校体育館で導入を進めたい。

①熱中症対策について
問 真夏時は、学校体育館が非常に暑くなる。大型扇風機の設置をしてはどうか。
答 来年の夏前までに全小中学校体育館で導入を進めたい。

①熱中症対策について
問 真夏時は、学校体育館が非常に暑くなる。大型扇風機の設置をしてはどうか。
答 来年の夏前までに全小中学校体育館で導入を進めたい。

①熱中症対策について
問 真夏時は、学校体育館が非常に暑くなる。大型扇風機の設置をしてはどうか。
答 来年の夏前までに全小中学校体育館で導入を進めたい。

村元 寛(草の根)

今成 優太(草の根)

②高齢者福祉・障がい者福祉政策について
問 「合理的配慮」について段差の解消への取組みは。

②市役所正面入口横の旧池部分の有効活用について
問 今現在、テッドスペース

②市役所正面入口横の旧池部分の有効活用について
問 今現在、テッドスペース

②市役所正面入口横の旧池部分の有効活用について
問 今現在、テッドスペース

②市役所正面入口横の旧池部分の有効活用について
問 今現在、テッドスペース

②市役所正面入口横の旧池部分の有効活用について
問 今現在、テッドスペース

②市役所正面入口横の旧池部分の有効活用について
問 今現在、テッドスペース

②市役所正面入口横の旧池部分の有効活用について
問 今現在、テッドスペース



表紙写真を募集
議会だよりの表紙写真を募集しています。
◆カラー写真
◆被写体のテーマ『私が選んだ富士見市百景』
◆写真(2L版)か写真データ
◆受付は随時行っています。
*応募写真、データは返却いたしません。
*写真のタイトル・撮影日時・場所を明記
*メールでの応募も可能です。
◇採用の方には、富士見市の特産品を贈呈します。
◆送付先 〒354-8511
富士見市大字鶴馬1800番地の1
富士見市議会事務局 あて
TEL 049-251-2711 (内165・166)
FAX 049-255-9637
メールアドレス gikai@city.fujimi.saitama.jp

議会映像をインターネットで配信中!
ライブ中継 本会議を生放送
録画映像 会議終了後1週間程度で配信
スマートフォン・タブレット・パソコンで閲覧できます。
議長の公務記録や政務活動費の領収書などの議会の情報もホームページで公開しています。
富士見市議会 検索

決算議案に対する各会派の討論

平成29年度の一般会計
他8会計の決算議案は、議員全員で構成された予算決算常任委員会に付託されました。審査にあたり、総務、文教福祉、建設環境の3分科会を設置し、各分科会において審査しました。

本会議最終日には、予算決算常任委員会委員長が委員会審査報告を行った後、質疑、討論、採決が行われました。

ここでは、定められたスペースで各会派が執筆した原稿を掲載しました。

日本共産党 (不認定)
2017年度一般会計の実質単年度収支は約6億5000万円の赤字となり、財政調整基金は約30億円となった。

子ども未来応援センターが10月から始まり、子育て世代の相談業務が進んだことは評価するが、税の収納率を高めるとして差押えを更に強化したことにより、前年度よりも14件多い734件となった。住民に更に寄りそって話を聞き、生活再建に繋げていく方向でこそ税収も上がるのではないかと考え、不認定とする。

安心倍増市政の会 (認定)
平成29年度は、これまでになく積極的な取り組みが行われたことを評価する。指摘事項として「雑入」の収入未済額が、平成24年度決算の270万円前後から、今や900万円を超しており、収納対策と滞納整理を求める。

また、平成28年度の放置自転車売却益の一部未納のままとなっている。このような事実が発生した場合、市民と議会への情報開示を求める。

新時代の幕開けとなる予算編成を今後期待し、認定する。

一部改正に伴い、本市においても重度心身障害者医療費助成金の支給対象を見直す必要が生じたため、同条例の一部を改正するものです。

《内容》
・支給対象者のうち本人所得が概ね36万4000円以上の者は、所得制限によって医療費助成制度の対象外とする
・所得制限により支給停止となつた場合、被災により固定資産の1/2以上の損害を受けた場合には医療費助成を行うこととする

〔平成31年1月1日施行。新規申請者は平成31年1月1日から、既存の受給者は平成34年10月1日から適用〕

の根幹を揺るがし、障害者に対する背信行為といわざるを得ない。このような行為に対し、原因の究明と再発の防止を強く求めるものである。

《内容》
衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、内閣官房長官
厚生労働大臣

提出先

埼玉県「乳幼児医療費助成制度」の拡充を求める意見書

将来の埼玉県を担う子どもたちの福祉向上及び子育て支援のため、乳幼児医療費助成制度の拡充は、埼玉県内住民の共通の切実な願いである。以上の趣旨から、県に対し下記の事項を要望する。

1 県の乳幼児医療費助成制度を入院・通院ともに中学卒業までに拡大すること
2 県が主体的に現物給付に向けて検討及び取組をはじめめること

提出先
埼玉県知事

とを強く求める。

提出先
衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 経済産業大臣
内閣府特命担当大臣(原子力防災)

提出先

学校施設等におけるブロック塀等の詳細な調査及び改修・補強や撤去等の安全対策に係る費用を補助する制度の早急な創設を求める意見書

ブロック塀倒壊による女子児童死亡事故を踏まえ、児童生徒の安全を確保するため下記の事項を要望する。

1 全国の小中学校でブロック塀の安全対策に係る費用を補助する制度を創設、またはその充実を図る
2 先行して対応したものに ついても補助対象とする
3 学校施設・学校周辺のブロック塀の早急な実態調査

提出先
衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 文部科学大臣

全文は議会ホームページまたは議会事務局で閲覧できます。

所管事務調査報告

《総務常任委員会》
○実施日7月18日、19日
○岐阜県児市
・主権者教育について
○愛知県大山市
・選挙手帳及び学生議会について

《建設環境常任委員会》
○実施日7月19日
○東京都多摩市
・多摩市まちの環境美化条例の取組状況について
○東京都千代田区
・環境美化政策について

《議会運営委員会》
○実施日8月2日
○千葉県流山市
・議会運営について
・調査報告書は議会ホームページまたは議会事務局で閲覧できます。

21. 未来クラブ (認定)
平成29年度は歳入歳出額ともに、当初予算・前年度決算を下回る結果となった。しかし総括的に見ると、經常収支比率及び財政力指数は改善。健全な財政運営のもとで、適切に予算が執行された。

子ども未来応援センターの開業など、新たな事業等が数多く推進されたことも評価できる。一方、水害・浸水対策は喫緊の課題。来年度以降も更なる成長、安全安心なまちづくりを目指した効果的な予算編成を求め認定とする。

公明党 (認定)
平成29年度の一般会計歳入歳出決算の主な事業等を見ると、公有財産ではつるせ西ゆうの丘公園の供用開始や緑の散歩道の用地取得等がある。また、事業では子ども未来応援センター運営事業や中央図書館改修工事等があり、緑地を残す努力、教育の質の向上等、限られた予算での事業計画を高く評価する。今後は市の課題である鶴瀬駅東口区画整理事業の早期実現と、自主財源の確保への努力を要望し認定の討論とする。

議案審議報告

議案第65号
富士見市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

《全会一致可決》
厚生労働省が省令で定める当該基準の一部改正に伴い、同基準を引用している本市条例の一部を改正するものです。

《主な内容》
・代替保育に係る連携施設の確保義務の緩和
・家庭的保育者の居宅で保育が行われている家庭的保育事業に対する食事の提供の特例に係る外部搬入施設の拡大
・家庭的保育者の居宅で行われている家庭的保育事業への自園調理に関する規定の適用猶予期間の延長

〔平成30年9月28日施行〕

議案第67号
平成30年度富士見市一般会計補正予算(第2号)

《全会一致可決》
既定の予算から643万円を減額し、予算の総額を32億1196万円とするものです。

《主な内容と金額》
・小規模保育施設の施設整備に係る補助金を計上するための補正 〔559万8000円〕
・鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計への繰出金を減額するための補正 〔△1289万2000円〕
・鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計への繰出金を減額するための補正 〔△4531万9000円〕

児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

近年急増している児童虐待事案に対し、下記の事項に取り組むことを強く求める。

1 児童虐待防止体制を強化するプランを新たに策定し、必要な財源を講ずること
2 子どもの問題の児童相談所への一極集中を改め、児童相談体制改革を行うこと
3 児童相談所間及び児童相談所と市町村・警察とが情報共有できるシステムを構築すること
4 全国共通ダイヤル「189」の運用の改善に努めること

提出先
内閣総理大臣 厚生労働大臣
文部科学大臣 総務大臣
国家公安委員長

東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書

昨年11月日本原子力発電株式会社は、原子力発電の運転期間40年制限を超えて、さらに20年の延長を原子力規制委員会に申請したが、原子炉等規制法の「40年ルール」は、老朽化した原発の事故を防ぐための最低限のルールであり、それを無視した延長、再稼働は市民に大きな不安をもたらすことになるので、当該原発の運転期間延長を行わないこと

提出先
衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 文部科学大臣

全文は議会ホームページまたは議会事務局で閲覧できます。

お詫びと訂正

市議会だより第176号掲載の内容の一部誤りがありました。お詫びして訂正します。

○1ページ「全会一致の議案等」の報告2「平成29年度富士見市一般会計繰越明許費」は、正しくは「平成29年度」です。
○4ページ意見書「要旨」3件目の本文2行目「主要農産物種子法は、正しくは「主要農作物種子法」です。

編集後記

台風接近もありましたが、今年も無事に稲刈りが終わりました。災害マニュアルの見直しが行われ、内容がより充実しました。来年も実り多き秋を迎えられるように、市議会一丸となって、安心安全のまちづくりを進めていきます。

草の根 (認定)
歳入における市税の収納率が向上している。理由として、滞納整理の適切な執行が挙げられているが、税の公平性をしっかりと担保するために、担税能力を見極めた上で、より一層の推進を期待する。

交通不便地域の解消につながるデマンド交通については、データに基づき議論を深めてより良い結論に導いて欲しい。また、新規事業の放課後学習支援事業は、目的や対象者を絞って行って欲しいことを要望し、認定とする。

市民の絆 (認定)
財源別収入状況を見ると、自主財源は減少し依存財源が増加していることを危惧する。施策面では、子ども未来応援センターの開業、デマンド交通実証運行、地域防災計画の見直し、収納対策などは評価するが、第2運動公園の整備については強く望む。

今後、子どもの貧困対策の更なる推進と学校給食の無償化、18歳までの医療費無料化、不用額の効率的運用等により住み続けたい富士見市となることを要望し認定とする。

議案第66号
富士見市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

《賛成多数可決》
埼玉県重度心身障害者医療費支給事業補助金交付要綱の

意見書(要旨)

障害者雇用水増し問題の原因究明と再発防止を求める意見書

障害者雇用の水増しが、中央省庁をはじめ全国で相次いで見つかっている。率先して実行すべき中央省庁が、自ら数値を偽っていた事は、制度

市民の声

佐藤 千穂

富士見市で生活していると、どんどん便利になっているのを感じます。特に私の住む鶴瀬地域は、大規模商業施設が開業したことで、今までのような賑わいもなくなり、市外に人が来なくなりました。市外に人が来なくなると、地域の活性化も難しくなると感じます。また、鶴瀬駅西口土地区画整理事業が完了すると、鶴瀬駅東口土地区画整理事業も完了すると、鶴瀬駅周辺の賑わいもなくなり、地域の活性化も難しくなると感じます。

ただ、区画整理途中では、駅前周辺に道路が少なく、歩行が難しい場所があります。大型商業施設ができれば、歩行が楽になると感じます。

とを強く求める。

提出先
衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 経済産業大臣
内閣府特命担当大臣(原子力防災)

提出先

学校施設等におけるブロック塀等の詳細な調査及び改修・補強や撤去等の安全対策に係る費用を補助する制度の早急な創設を求める意見書

ブロック塀倒壊による女子児童死亡事故を踏まえ、児童生徒の安全を確保するため下記の事項を要望する。

1 全国の小中学校でブロック塀の安全対策に係る費用を補助する制度を創設、またはその充実を図る
2 先行して対応したものに ついても補助対象とする
3 学校施設・学校周辺のブロック塀の早急な実態調査

提出先
衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 文部科学大臣

全文は議会ホームページまたは議会事務局で閲覧できます。

お詫びと訂正

市議会だより第176号掲載の内容の一部誤りがありました。お詫びして訂正します。

○1ページ「全会一致の議案等」の報告2「平成29年度富士見市一般会計繰越明許費」は、正しくは「平成29年度」です。
○4ページ意見書「要旨」3件目の本文2行目「主要農産物種子法は、正しくは「主要農作物種子法」です。

編集後記

台風接近もありましたが、今年も無事に稲刈りが終わりました。災害マニュアルの見直しが行われ、内容がより充実しました。来年も実り多き秋を迎えられるように、市議会一丸となって、安心安全のまちづくりを進めていきます。

草の根 (認定)
歳入における市税の収納率が向上している。理由として、滞納整理の適切な執行が挙げられているが、税の公平性をしっかりと担保するために、より一層の推進を期待する。

交通不便地域の解消につながるデマンド交通については、データに基づき議論を深めてより良い結論に導いて欲しい。また、新規事業の放課後学習支援事業は、目的や対象者を絞って行って欲しいことを要望し、認定とする。

市民の絆 (認定)
財源別収入状況を見ると、自主財源は減少し依存財源が増加していることを危惧する。施策面では、子ども未来応援センターの開業、デマンド交通実証運行、地域防災計画の見直し、収納対策などは評価するが、第2運動公園の整備については強く望む。

今後、子どもの貧困対策の更なる推進と学校給食の無償化、18歳までの医療費無料化、不用額の効率的運用等により住み続けたい富士見市となることを要望し認定とする。

議案第66号
富士見市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

《賛成多数可決》
埼玉県重度心身障害者医療費支給事業補助金交付要綱の

意見書(要旨)

障害者雇用水増し問題の原因究明と再発防止を求める意見書

障害者雇用の水増しが、中央省庁をはじめ全国で相次いで見つかっている。率先して実行すべき中央省庁が、自ら数値を偽っていた事は、制度

市民の声

佐藤 千穂

富士見市で生活していると、どんどん便利になっているのを感じます。特に私の住む鶴瀬地域は、大規模商業施設が開業したことで、今までのような賑わいもなくなり、市外に人が来なくなりました。市外に人が来なくなると、地域の活性化も難しくなると感じます。また、鶴瀬駅西口土地区画整理事業が完了すると、鶴瀬駅東口土地区画整理事業も完了すると、鶴瀬駅周辺の賑わいもなくなり、地域の活性化も難しくなると感じます。

ただ、区画整理途中では、駅前周辺に道路が少なく、歩行が難しい場所があります。大型商業施設ができれば、歩行が楽になると感じます。

とを強く求める。

提出先
衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 経済産業大臣
内閣府特命担当大臣(原子力防災)

提出先

学校施設等におけるブロック塀等の詳細な調査及び改修・補強や撤去等の安全対策に係る費用を補助する制度の早急な創設を求める意見書

ブロック塀倒壊による女子児童死亡事故を踏まえ、児童生徒の安全を確保するため下記の事項を要望する。

1 全国の小中学校でブロック塀の安全対策に係る費用を補助する制度を創設、またはその充実を図る
2 先行して対応したものに ついても補助対象とする
3 学校施設・学校周辺のブロック塀の早急な実態調査

提出先
衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 文部科学大臣

全文は議会ホームページまたは議会事務局で閲覧できます。

お詫びと訂正

市議会だより第176号掲載の内容の一部誤りがありました。お詫びして訂正します。

○1ページ「全会一致の議案等」の報告2「平成29年度富士見市一般会計繰越明許費」は、正しくは「平成29年度」です。
○4ページ意見書「要旨」3件目の本文2行目「主要農産物種子法は、正しくは「主要農作物種子法」です。

編集後記

台風接近もありましたが、今年も無事に稲刈りが終わりました。災害マニュアルの見直しが行われ、内容がより充実しました。来年も実り多き秋を迎えられるように、市議会一丸となって、安心安全のまちづくりを進めていきます。